



## S コマンド

---

この章では、S で始まる Cisco NX-OS の仮想ポート チャンネル (vPC) コマンドについて説明します。

# state enabled

ポート プロファイルをイネーブルにするには、**state enabled** コマンドを使用します。ポート プロファイルをディセーブルにするには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**state enabled**

**no state enabled**

## 構文の説明

このコマンドには、引数またはキーワードはありません。

## コマンドデフォルト

ディセーブル

## コマンドモード

ポート プロファイル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

ポート プロファイル設定をインターフェイスに適用するには、このコマンドを使用して、ポート プロファイルをイネーブルにします。ポート プロファイルをイネーブルにする前に、そのポート プロファイルを一定範囲のインターフェイスに設定し、継承できます。その後、指定されたインターフェイスで設定が実行されるように、そのポート プロファイルをイネーブルにする必要があります。

## 例

次に、イーサネット インターフェイス用に設定された ppEth という名前のポート プロファイルをイネーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# state enabled
switch(config-port-prof)#
```

次に、イーサネット インターフェイス用に設定された ppEth という名前のポート プロファイルをディセーブルにする例を示します。

```
switch# configure terminal
switch(config)# port-profile ppEth
switch(config-port-prof)# no state enabled
switch(config-port-prof)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
<b>inherit</b>	インターフェイスにポート プロファイルをアタッチします。

コマンド	説明
<b>show port-profile</b>	すべてのポート プロファイルに関する情報を表示します。
<b>show running-config port-profile</b>	ポート プロファイルの実行コンフィギュレーションを表示します。

# switch-profile

スイッチ プロファイルを作成または設定するには、**switch-profile** コマンドを使用します。スイッチ プロファイルを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**switch-profile** *sw-profile-name*

**no switch-profile** *sw-profile-name* {**all-config** | **local-config**}

## 構文の説明

<i>sw-profile-name</i>	スイッチ プロファイルの名前。名前は、大文字と小文字が区別され、最大 64 文字の英数字を使用でき、アンダースコアおよびハイフンを含めることができます。名前にはスペースや特殊文字は使用できません。
<b>all-config</b>	スイッチ プロファイルをすべてのローカルおよびピア コンフィギュレーションとともに削除することを指定します。
<b>local-config</b>	スイッチ プロファイルとすべてのローカル コンフィギュレーションを削除することを指定します。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

コンフィギュレーション同期モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

各ピア スイッチにスイッチ プロファイルを作成するには、このコマンドを使用します。Cisco Fabric Service (CFS) ピア コンフィギュレーションの両方のスイッチに同じプロファイル名を使用する必要があります。



(注)

Cisco NX-OS の本リリースでは、スイッチのペアのみをピアとして設定できます。

各ピア スイッチにアクティブなスイッチ プロファイルを 1 つだけ設定できます。2 つ目のスイッチ プロファイルを作成または設定すると、次のメッセージが表示されます。

```
Error: Another switch profile already exists. Cannot configure more than one switch-profile.
```

スイッチ上でローカルに作成されたコンフィギュレーションは、ピア スイッチ間の接続が確立され、ローカル スイッチでコンフィギュレーションが検証およびコミットされて初めてピア スイッチで同期され、使用可能になります。

インターフェイス コンフィギュレーション、Quality of Service (QoS)、および仮想ポート チャネル (vPC) コマンドを含むようにスイッチ プロファイルを設定できます。FCoE コマンドはスイッチ プロファイルではサポートされません。

スイッチ プロファイルを削除するときには、ローカル スイッチ プロファイルをスイッチ上のローカル コンフィギュレーションとともに削除するか、スイッチ プロファイルをピアのローカル コンフィギュレーションおよびコンフィギュレーション情報とともに削除するかを選択できます。ピアは到達不能になります。

**例**

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルを作成する例を示します。

**ピア A**

```
switch# configure terminal
switch(config)# cfs ipv4 distribute
switch(config)# exit
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルを作成する例を示します。

**ピア B**

```
switch# configure terminal
switch(config)# cfs ipv4 distribute
switch(config)# exit
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルとそのローカル コンフィギュレーションを削除する例を示します。

**ピア A**

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# no switch-profile s5010 local-config
switch(config-sync)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>config sync</b>	コンフィギュレーション同期モードを開始します。
<b>show switch-profile</b>	スイッチ上に作成されたスイッチ プロファイルとそのコンフィギュレーション リビジョンを表示します。
<b>sync-peers destination</b>	コンフィギュレーションを同期するピア スイッチを設定します。

# sync-peers destination

スイッチ プロファイルにピア スイッチを追加するには、**sync-peers destination** コマンドを使用します。スイッチ プロファイルからピアを削除するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**sync-peers destination ipv4-address**

**no sync-peers destination ipv4-address**

## 構文の説明

宛先	ピア スイッチの宛先 IPv4 アドレスを指定します。
<i>ipv4-address</i>	A.B.C.D 形式のピア スイッチの宛先 IPv4 アドレス。

## コマンド デフォルト

なし

## コマンド モード

スイッチ プロファイル コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
5.0(2)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

このコマンドは、同期の対象とするピア スイッチを追加するために使用します。ピア スイッチの IPv4 アドレスが必要です。**config sync** コマンドを使用して、ピア スイッチでコンフィギュレーション同期がイネーブルになっていることを確認できます。

スイッチ プロファイルにピアを追加した後で、スイッチ プロファイルにコマンドを追加できます。

ピアは、ローカル コンフィギュレーションのコンフィギュレーション リビジョンおよびリビジョンを保持します。ネットワークの停止後、ピア スイッチ間の接続が確立され、ピアが到達可能になると、各ピアはスイッチのコンフィギュレーションを他のピアと同期する必要があるかどうかを確認します。変更されたコンフィギュレーションがピア間で同期されます。

スイッチ プロファイルからピアを削除すると、ピアに関するすべてのコンフィギュレーション情報がローカル スイッチから削除されます。

## 例

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルに IPv4 アドレスが 192.168.1.37 のピア スイッチを追加する例を示します。

### ピア A

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# sync-peers destination 192.168.1.37
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 2 の s5010 というスイッチ プロファイルに IPv4 アドレスが 192.168.120.3 のピア スイッチを追加する例を示します。

**ピア B**

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
Switch-Profile started, Profile ID is 1
switch(config-sync-sp)# sync-peers destination 192.168.120.3
switch(config-sync-sp)#
```

次に、ピアのスイッチ 1 の s5010 というスイッチ プロファイルから IPv4 アドレスが 192.168.1.37 のピアを削除する例を示します。

**ピア A**

```
switch# config sync
Enter configuration commands, one per line. End with CNTL/Z.
switch(config-sync)# switch-profile s5010
switch(config-sync-sp)# no sync-peers destination 192.168.1.37
switch(config-sync-sp)#
```

**関連コマンド**

コマンド	説明
<b>command</b>	スイッチ プロファイルにおいてコマンドを追加、変更、または削除します。
<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
<b>import</b>	実行コンフィギュレーションからスイッチ プロファイルにコマンドをインポートします。
<b>show switch-profile</b>	スイッチ上に作成されたスイッチ プロファイルとそのコンフィギュレーション リビジョンを表示します。
<b>show switch-profile status</b>	スイッチ プロファイルのステータスを表示します。
<b>switch-profile</b>	スイッチ プロファイルを設定します。

# system-mac

仮想ポート チャネル (vPC) ドメインの MAC アドレスを手動で設定するには、**system-mac** コマンドを使用します。vPC システムのデフォルトの MAC アドレスを復元するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**system-mac** *mac\_address*

**no system-mac** *mac\_address*

構文の説明	<i>mac_address</i>	指定した vPC ドメインに設定する aaaa.bbbb.cccc 形式の MAC アドレス。
-------	--------------------	---

コマンド デフォルト	なし
------------	----

コマンド モード	vPC ドメイン コンフィギュレーション モード
----------	--------------------------

コマンド履歴	リリース	変更内容
	4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

使用上のガイドライン	vPC ドメインを作成するとき、Cisco NX-OS ソフトウェアは自動的に vPC システムの MAC アドレスを作成します。これは、Link Aggregation Control Protocol (LACP) などのリンクスコープ内の操作にだけ使用されます。ただし、vPC ドメインの MAC アドレスを手動で設定するように選択することもできます。
------------	---

例	次に、vPC ドメインの MAC アドレスを設定する例を示します。
---	-----------------------------------

```
switch(config-vpc-domain) # system-mac 23fb.4ab5.4c4e
switch(config-vpc-domain) #
```

関連コマンド	コマンド	説明
	<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
	<b>show vpc peer-keepalive</b>	ピアキープアライブ リンクのステータスを表示します。
	<b>show running-config vpc</b>	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
	<b>show vpc role</b>	vPC システム プライオリティを表示します。
	<b>show vpc statistics</b>	キープアライブ メッセージのコンフィギュレーションに関する情報を表示します。



# system-priority

仮想ポート チャンネル (vPC) ドメインのシステム プライオリティを手動で設定するには、**system-priority** コマンドを使用します。デフォルトのシステム プライオリティを復元するには、このコマンドの **no** 形式を使用します。

**system-priority** *priority\_value*

**no system-priority** *priority\_value*

## 構文の説明

<i>priority_value</i>	指定した vPC ドメインに設定するシステム プライオリティ。有効な範囲は 1 ~ 65535 で、デフォルト値は 32667 です。
-----------------------	---

## コマンド デフォルト

システム プライオリティのデフォルトは 32667 です。

## コマンド モード

vPC ドメイン コンフィギュレーション モード

## コマンド履歴

リリース	変更内容
4.2(1)N1(1)	このコマンドが追加されました。

## 使用上のガイドライン

Link Aggregation Control Protocol (LACP) を実行しているときには、vPC ピア デバイスが LACP 上で必ずプライマリ デバイスになるように、vPC システム プライオリティを手動で設定することを推奨します。システム プライオリティを手動で設定する場合には、必ず同じプライオリティ値を両方の vPC ピア デバイスに設定します。これらの値が一致しないと、vPC は起動しません。

## 例

次に、vPC ドメインのシステム プライオリティを設定する例を示します。

```
switch(config-vpc-domain)# system-priority 3000
switch(config-vpc-domain)#
```

## 関連コマンド

コマンド	説明
<b>copy running-config startup-config</b>	実行コンフィギュレーションを、スタートアップ コンフィギュレーションにコピーします。
<b>show running-config vpc</b>	vPC の実行コンフィギュレーション情報を表示します。
<b>show vpc role</b>	vPC システム プライオリティを表示します。

